

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

東京グリーン

CHARTERED 1973

< 2020.01 >

BULLETIN

2019年7月～2020年6月



国際会長 Jennifer Jones「Building today for a better / On the MOVE! (オーストラリア)
アジア太平洋地域会長 田中博之「アクション / 誇りと喜びを持って」(東京多摩みなみ)
東日本区理事 山田敏明「勇気ある変革、愛ある行動」(十勝)
関東東部部長 金丸満雄「紡ぐ ワイズのこころ」(東京ひがし)
クラブ会長 西澤紘一「ワイズの絆をつむごう」(グリーン)

会長 西澤 紘一
副会長 浅見 隆夫
副会長 青木 方枝
書記 布上征一郎
会計 柿沼 敬喜
監事 浅見 隆夫
担当主事 木村 卓司

1月 新年、天地の創め

初めに、神は天地を創造された。地は混沌であって、闇が深淵の面にあり、神の霊が水の面を動いていた。

(創世記1:1~2)

<神さまが、いるとかいないとか、そんなことは問題にしないで、
初めに神は、と聖書は始まります>

2020年01月 新年例会

2020年を迎えて

東京北クラブ*東京グリーンクラブ合同新年例会

日時:2020年01月15日(水) 18:00~20:30
場所:千代田区和泉橋区民館 3階 和室
千代田区佐久間町 1-11 TEL03-3253-4931
受付:プログラム委員 / 司会:浅見君 / 会計:柿沼君
開会点鐘 (グリーン) 西澤会長
ワイズソング・ワイズの信条 全員
聖句・お祈り 古平君
出席者紹介 両クラブ会長より

特別イベント「落語」

出演:友部康志 師匠 紹介:吉田紘子さん

乾杯 プログラム委員 高谷君

~~~~ 会食 ~~~~

大新のお正月弁当をご堪能下さい

事業委員会情報 担当委員

ビジター アピール 東京たんぼぼクラブ 小原君

Happy Birthday<北:有里さん 1名>

<グリーン:木村・佐野・布上・根本・樋口 5名>

閉会点鐘 (北クラブ) 金会長



#### 明けましておめでとう ございます

ワイズの皆様、昨年中は大変お世話になりました。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

さて、東京グリーンクラブは2018年にクラブ創立45周年を迎えて、盛大に

記念例会を開催させて頂きました。そして、2023年にはなんと、「50周年」の大きな節目がやっけてまいります。

その前に今期2020年は関東東部の部長をグリーンの柿沼部長がお引き受けし、浅見部会計、布上部書記のキャビネットで、頑張つてまいります。また、10月3日には部大会も予定しております。クラブ内は一致団結、奉仕活動と、懇親に励みましょう。まず、年齢は忘れることですね。

1月はIBC/DBC 強調月間です。

昨年、京都部会にて京都パレス・熱海・グリーンのDBCにマニラダウンタウンが加わってクアドラングル(四角)のIBC締結式をさせていただきました。有難いことです。山椒は小粒でもピリッと辛い、クラブでいたいです。

(布上 記)

、【例会出席率】 在籍:17名 メーキャップ 2名 出席率 16/17 94%

出席:12月(メン 14名、メネット 2名、ビジター 5名) 計 21名

#### 【ニコニコ】

12月例会 21,000円(今月のニコニコはYMCAクリスマス募金に贈呈)

＜2019年12月 X'mas 例会＞

日時:2019年12月21日(土) 16:00~19:00  
場所:老舗 ピアノラウンジ 銀座「MOMOKI」  
出席:青木・浅見(隆)・浅見(ク)・柿沼・古平・佐野  
塩入・高谷・西澤・西本(東)・西本(晃)・布上(征)  
根本・樋口・目黒 布上(信)(ネット)  
ビジター春日井明・康子さん(東京)・辰馬さん(北)  
ゲスト森川さん・庄山さん(水辺のガイド仲間) 計21名



今年のクリスマス会は高谷メンの行きつけのお店、銀座七丁目の老舗クラブ「MOMOKI」を夕方から借り切ってグリーンクラブお得意のクリスマス食事会&生ピアノ伴奏で歌の会を催した。21名で丁度よいスペースのお店。プログラムは例会形式で進行、司会を青木メンが担当、古平メンの聖句・奨励もしっかり伺った。讃美歌「きよしこのよる」を皆で斉唱。乾杯は高谷メン。



ビジターでは春日井ご夫妻、辰馬さん、グリーンの祝会では常連の方々。また、隅田川水辺ガイドの仲間から、森川さんと庄山さんが出席。



西本メンのお得意の歌も朗々と披露、素晴らしかった。また、昨年、クラブの例会で「クラシック例会」を企画してくれた樋口メンもカラオケは大好き人間・・・あっという間の2時間半・・・歌い足りない？



本日のHAPPYは浅見クミ子メン、12月はいつも独り占め。ニコニコ献金21,000円は東京YMCAのクリスマス募金に寄贈した。2019年の締めとして、

和気藹々、楽しいクリスマス例会になりました。(布上記)

＜2019年12月 第二例会 報告＞

日時:2019年12月11日(水) 18:30~20:30  
場所:千代田区和泉橋区民館5F  
出席:西澤・青木・浅見T・浅見K・柿沼・木村・布上S  
樋口  
配布資料:グリーンクラブ12月ブリテン初稿 pdf  
東日本区12月5日号理事通信

【重要議題】

次期クラブ会長、書記、会計、副会長、監事 の選出  
グリーンクラブ西澤現体制+佐野副会長、青木会計補佐を依頼・承諾  
関東東部役員:柿沼部長・布上書記・浅見会計を承認/樋口国際・交流主査候補に

12月12日(木) 歌の広場 東陽町 YMCA センター  
13:00~ 青木・布上 N・木村 参加  
12月15日(日) 東京 YMCA クリスマスオープンハウス  
フランクフルト焼き(250本)/甘酒/缶ビール  
模擬店寄贈金額 ¥18,000-/バザー売り上げ¥34,850-

12月21日(土) クラブ クリスマス例会  
銀座 MOMOKI 16:00 開始 会費 5000 円/名  
計21名参加

2020年1月11日(土) ・在京ワイズ会長会  
10:00-12:00 東陽町 西澤会長・木村主事出席  
\*在京YY協議会準備委員会

・在京ワイズ新年会  
東京 YMCA 社会体育・保育専門学校 受付 13:30~  
14:00~18:30 礼拝・映画鑑賞「大地の詩」  
懇親会含め 会費:5000 円、  
出席:青木・浅見(ク)・浅見(隆)・柿沼・木村・佐野  
西澤・布上(征)・布上(信)・根本・

1月15日(水) クラブ新年会 北クラブと合同  
和泉橋会館の和室  
友部康志氏の落語(吉田紘子さん紹介)  
\*会費 2000円(大新特別弁当依頼)  
アルコール持ち込みOK  
進行は例会形式 開会挨拶・グリーン  
/閉会挨拶・北クラブで

2月1日(土) EMCシンボジウム  
3月7日~8日次期クラブ会長、役員研修  
4月16日(木)第30回東京YMCAチャリティーゴルフ  
(総成CC)  
4月18日(土)第3回関東東部評議会 東陽町 13:00~  
(布上記)

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

Happy Birthday

1月 佐野 守(メン) 布上征一郎(メン)  
根本幸子(メン) 樋口 順英(メン)  
木村卓司(担当主事)

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

## 在京ワイズクラブ会長会と

### 2,020 年在京ワイズ合同新年会報告

在京ワイズクラブ会長会が、まだ正月気分も抜けない1月11日(土)、東京 YMCA 東陽町センター、YMCA ホールで開催され木村担当主事と私が出席することになった。在京 18 クラブから会長と担当主事 36 名が出席要請をされており欠席は 2 名のみで、盛会であった。当クラブの柿沼氏(会長会幹事)の司会で会長会が始まった。

ワイズソング斉唱とゲスト紹介の後、在日本韓国 YMCA 総務の朱宰亨氏の挨拶、東京 YMCA 総主事の菅谷氏の 2 名が壇上に立ちご挨拶を頂いた。菅谷主事からは、今年は、オリンピックイヤーであるとともに東京 YMCA 設立 140 周年にもあたり、YMCA 活動の見直し、つまり継続、変化、中止など折り返しをつけたいと強い意志を表明された。

次に会長会第一部として、各種報告がなされた。会員部(綿引氏)から、会計報告、会員部報告(29 回チャリティゴルフなど)、在日本韓国 YMCA 報告(2020 年度に創立 114 年記念日を迎えること)がされて、最後に次年度会長会の担当が山手クラブであること(2020 年 5 月 23 日、2021 年 1 月 9 日)が連絡・報告された。

第二部は、YY 協議会で議論されて、あらかじめ用意・配布されていた資料に基づき、「ワイズと YMCA がどうあるべきか」をテーマに小グループに分かれて自由討論を行った。

YY 協議会(会長会幹事 11 名で構成)での議論(2019 年 9 月 14 日)のまとめは、いわゆる「特性要因図」にまとめられて、議論のきっかけとなった。

課題や、行動計画を重要度、緊急度、実現可能性に分類してまとめるよう指示を受けたが、考え方が各人各様で 1 つの方向性が見いだせた訳ではないが、

YMCA(気力、体力)とワイズ(知力)のコラボ、地域の社保活動との協業、ボランティアの組織化など身近に取り組める課題はあるはずとの認識をもつこと、ただし、行動を実施に移す際には上から目線を避けてサーバントリーダーシップに心がけることなどが合意された。

## 在京ワイズ合同新年会



(柿沼幹事の開会点鐘)

同日午後 2 時から社会体育・保育専門学校 2 階演習室に移動し、2020 年在京ワイズ合同新年会が開催された。今年のホストクラブは東京クラブの皆さんが担当していただき、いろいろと細やかな配慮に感謝したい。

25 クラブ、115 名の参加者があり、会場はほぼ満席であった。なかでも十勝クラブの山田東日本区理事が参加され、今年の東日本区大会(6 月 6 日)の PR をされたのが印象に残った。プログラムは、礼拝(聖書朗読、讃美歌斉唱、祈り)とその後、各来賓からの挨拶を受けることとなった。在京クラブ会長会幹事、柿沼氏の司会の下、ワイズソングに次いでホスト役の加藤東京クラブ会長、神崎日本 YMCA 同盟総主事、田中アジア・太平洋地域会長、菅谷

東京 YMCA 総主事らの挨拶の後、メインイベントである「大地の詩」(監督:山田火砂子:現代プロダクション)の上映を鑑賞することとなった。<4pに映画の詳細を掲載>

また映画鑑賞の前に、台風 19 号の被災地への支援金と北海道家庭学校の支援としての献金を募った。それぞれおよそ 7 万円、2 万円が捧げられた。



最後に会場を変えて YMCA ホールへ戻り、午後 5 時から懇親会を持った。テーブルが島状に配置してあり、周りに飲み物や食べ物が置かれていた。

東京クラブ比奈地氏、新藤氏の司会でお楽しみ会の懇親会が始まった。同クラブの迫川氏の食前の祈り、山田東日本区理事の発声で本日何回目かの「おめでとうございます」を聞いて、懇親に入った。

途中で、各クラブからのアピールが相次ぎ、最後に、今回の合同新年会の実行委員長であった東京クラブの長澤氏から締め言葉があった。特に本日鑑賞した留岡幸助氏が創設した北海道家庭学校の見学が 6 月 6 日の東日本区大会の付帯ツアーとして提供しているとのアピールがあった。(23 回十勝東日本区大会とオホーツク遠軽・紋別 4 日間の旅(2020 年 6 月 5 日から 8 日:JEP TOURS))

(クラブ会長 西澤紘一 記)

\*\*\*\*\*

東京 Y M C A クリスマスオープンハウス

& バザーに参加して



2019 年 12 月 15 日(日)

東京 YMC 東陽町 X'mas オープンハウスが開催された。模擬店、フリーマーケット、バザー、子どもコーナー、その他諸々の出店、餅つき、コーラス、最後にラッフル抽選会、朝から夕方まで YMCA、ワイズのみなさん、近隣のお客さん、おいに楽しんでくれた。

今年もグリーンは男性陣「フランク焼きと甘酒」、午後 2 時にはすべて完売し、益金は 18,000 円を寄贈できた。

女性陣はバザーでの販売。今回も柿沼メネットの手作り布袋作品、青木メンのスリッパ、他に、酒、お菓子、赤飯などなど皆さんから提供をしていただき、売り上げは 34,850 円になった。これはクラブのメネット活動の資金として有効に活用させていただく。感謝、感謝です。

グリーン参加者:青木・浅見 K・浅見 T・柿沼・佐野・木村塩入・西本 T・西本 A・布上 S・布上 N (布上 S 記)

# フリテン 映画館

## 「大地の詩～留岡幸助物語～」

(監督:山田火砂子、現代ぷろだくしょん平成23年)



明治初期のころ岡山県高梁市の商家の養子になった留岡幸助は、幼い頃から正義感に溢れた子供であった。身分制度が廃止されたにもかかわらず、

旧武士階級は、幸助ら商人階級を見下していた。ある時彼らとけんかになり、体の小さい幸助は投げ飛ばされたが、最後に相手の腕に噛みついて難を逃れたこともあった。青年期に高梁市に伝道に来ていた宣教師の影響を受けてキリスト教に入信することになる。その後同志社英学校(同志社大学)に特待生で入学、卒業後は丹波教会の牧師となった。

当時地獄と言われていた監獄の囚人たちへの教誨師の職があり幸助に打診があった。彼は、弱い立場の囚人の立場に立ちたいと決心し、妻子共々北海道に渡った。重罪犯を収容する空知の監獄での囚人は極めて非人間的な強制労働を強いられ過酷な扱いを受けていた。幸助は、彼ら囚人に対して聖書の講話を語るとともに彼らが何故罪を犯さなければならなかったかの理由を3年に渡って調べつくした。結論として、犯罪の多くの芽は幼い頃の虐待や無視など愛情の無い環境下で育った少年期にその要因があったことを知る。

そこで、教誨師を辞め、米国に留学して米国の更生を目的とした監獄運営事情を学んだ。2年後に帰国して、社会からはじかれた少年達の感化を目的に東京都内に「家庭学校」の設立を決心した。いわゆる私立の感化院である。彼の感化院に入った多くの不良少年が、何年後かに立ち直り社会に巣立っていった。

その後、子供を育てる環境は大自然が最も良い(エミール:ルソー著)との思いの下に北海道遠軽に「家庭学校」を作った。この学校は今も続いている。

子供たちのためと言う一念で、寄付を集め、協力者を説得し、土地を確保してゆく幸助の努力は迫力がある。彼は、「一路到白頭」(白頭に至るまで一途に信じた道を進む:聖書の留岡流訳)が口癖で、何と言われようとも信じた道を切り拓いてゆくと言う強い意志を持っていた。留岡幸助が、現在の日本の教育界の現状を知ったら何と言うだろう。

映画は、留岡夫婦役を村上弘明と工藤夕貴が演じ、わき役もしっかりした演技派を配するなど豪華版であった。ただし、独立系の映画であったため通常の映画館では上映されず、多くの人の目に触れることはなかったようだ。今年度東日本区大会(十勝クラブ)時に北海道家庭学校(紋別市)訪問が企画されている。

堅い事務椅子と暖房不足の演習室での長時間鑑賞は、相当つらかったが、心に残る名画であった。

(西澤絃一 記)

# YMCA コーナー

- 12月12日、台風19号で甚大な被害を受けた長野市豊野地区に、中期的な支援拠点となるスペース「まちの縁側ぬくぬく亭」が開設され、菅谷淳総主事と中里敦会員・コミュニティー事業部統括が出席しました。同スペースは広く地域住民に開放され、社会福祉法人賛育会ほか豊野地区で支援活動を行ってきた自治会やNPOなど12団体が協働して運営を担うが、東京YMCAもその一員として今後、各種の交流プログラムの提供を行っていく予定。
- 12月13日、東京YMCA高等学院の主催による礼拝とチャリティーコンサートが早稲田奉仕園スコットホールで行われました。第1部では古賀博牧師(日本基督教団早稲田教会)の説教によるクリスマス礼拝を持ち、第2部のチャリティーコンサートでは、女性デュオ"nutmeg"とギタリストによる演奏が披露されました。益金66,000円は台風19号・15号被災地支援のために捧げられました。
- 12月15日(日)晴天に恵まれて恒例の東陽町クリスマスオープンハウスが実施されました。東京YMCAインターナショナルスクール(TYIS)生徒たちのかわいらしいダンスからスタートし、バザー、



国際喫茶、模擬店、フリーマーケット、子どもコーナー、おもちゃ病院、近隣小学校の絵画展、ゴスペルコンサート、災害コーナー、ラッフル抽選会と例年通りのにぎやかな内容で行われました。皆様のご協力感謝いたします。



## 4. 今後の主な行事日程

- ・新春特別午餐会 1月23日(学士会館)  
卓話者:金田喜稔氏(一社:日本サッカー名蹴会会長)
- ・台風被災地支援(賛育会豊野事業所支援)チャリティーコンサート/1月24日(日本基督教団霊南坂教会)
- ・子育て講演会 2月1日(しのめこども園)  
講演者:高野優氏(育児漫画家)  
テーマ:「反抗期 思春期のトリセツ」
- ・陽春の集い 2月22日(土) (担当主事木村 記)